

2025 動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day” 開催される

令和7年11月15日、上野恩賜公園不忍池周辺（東京都台東区）において、「2025 動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day”」が、日本獣医師会の活動方針である「動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。」をテーマとして、多数の来場者を得て盛大に開催された。

本行事は、動物の診療だけではなく人の健康にも深くかかわるさまざまな仕事に取り組む獣医師の役割とともに、動物たちが担う社会的役割の多様性を広く一般に普及して理解を促進することにより、動物愛護思想の普及・啓発、人と動物が共存して生きる豊かな社会の実現に寄与することを目的に日本獣医師会が公益事業として開催している。第19回を迎える本年も、動物愛護管理法の規定に基づき、環境省が東京都、台東区及び関係団体等と開催する動物愛護週間中央行事（屋外行事）と同日、同会場で合同開催された。関係省庁・獣医師関係団体等の後援、関連企業等の協賛、獣医系大学や地方獣医師会をはじめ関連団体の協力のもと、獣医師への理解を深めてもらうよう多数の催し物を企画し、獣医学系大学の学生、動物看護学生、動物飼育者等をはじめ、約5,000名の一般市民に来場いただいた。

開会式では、はじめに動物愛護週間中央行事の主催者である動物愛護週間中央行事実行委員会を代表して委員長である公益財団法人日本動物愛護協会 田畑直樹理事長から挨拶が行われた。

続いて、動物感謝デーの主催者として本会 藏内勇夫会長から、以下の挨拶がなされた。

「皆さんおはようございます。2025 動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day” 早朝より多数ご参加をいただきまして誠にありがとうございます。主催者であります公益社団法人日本獣医師会を代表して一言ご挨拶を申し上げます。

本日は大変お忙しい中、自由民主党から財務大臣 ペット関連産業・人材育成議員連盟会長 片山さつき参議院議員、農林水産大臣 鈴木憲和衆議院議員、自由民主党獣医師問題議員連盟 麻生太郎会長代行 森 英介衆議院議員、自由民主党ワンヘルス推進議員連盟副会長 大家敏志参議院議員はじめ、多数のご来賓の方にご出席をいただくことができました。われわれが日頃よりご支援をいただいております関係官庁、団体、企業の多くの方にご臨席を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

この「動物感謝デー」は、世界獣医師会が提唱する「世界獣医師の日」活動の一環として、獣医師が取り組むさまざまな仕事や、人と動物が共生する豊かな社会の実現のための取組みを国民に広くご紹介をすることを目的とし、これまで日本獣医師会が主催となって開催してまいりました。現在は、国が主催する動物愛護週間中央行事との合同開催となり、規模も大きくなってきました。

「動物感謝デー」のテーマは、「動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。」です。皆さまも「ワンヘルス」という言葉を耳にしたことがあるかと存じますが、このたびのコロナウイルス感染症をはじめとする人と動物の共通感染症などの課題、人と動物の健康と環境の保全を一体的にとらえ、解決するという考え方で、このテーマはまさにワンヘルスを表したものであり、世界中でもその取組みが進められております。

私は昨日、官邸で高市総理ご出席の「国と地方の協議の場」に出席をいたしました。本日ご臨席いただいております片山大臣、鈴木大臣にも出席をいただいております。私がワンヘルスのことをそこをお願いをいたしましたところ、大変関心をもってお聞きいただき、前向きな答えをいただくことができました。改めまして、片山大臣、鈴木大臣にはお礼を申し上げます。

私は来年4月に世界獣医師会の会長に就任し4月21日から24日までの間、東京国際フォーラムにて「ワンヘルスで世界の獣医療が示す未来」をテーマに世界獣医師会大会を開催します。本大会では世界中の獣医師が一堂に会し、ワンヘルスの理念のもと動物と人が調和して共生できる世界の実現に向けたプログラムのほか、一般の方々も参加できるシンポジウムも企画しております。ぜひとも皆様方にご参加いただきたく存じます。

本日は会場内のステージの企画、各ブースのテント展示など、さまざまな分野でこのワンヘルスの取組みに中心的な役割を果たしている獣医師をご理解いただくとともに、生活の中でワンヘルスを取り入れていただくことを期待しているところであります。

最後に、開催に際しましてご支援とご協力をいただいた協賛企業、関係省庁、関係団体、教育機関をはじめ、関係者の皆さまにお礼を申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。」

続いて、来賓として、片山さつき財務大臣 ペット関連産業・人材育成議員連盟会長、鈴木憲和農林水産大臣、森 英介自由民主党獣医師問題議員連盟会長代行・

衆議院議員からご挨拶をいただき、大家敏志自由民主党・参議院議員からお祝いの言葉をいただいた。

その後、坂 勝浩農林水産省消費・安全局長、堀上 勝環境省自然環境局長、前関 聡内閣府食品安全委員会事務局次長、大塚和子厚生労働省医薬局監視指導・麻薬対策課長、特別協賛社である福島正晴共立製薬株式会社CA営業本部ペット事業推進部長、福井寿一日本全薬工業株式会社代表取締役社長の来賓紹介、令和7年度動物愛護週間中央行事実行委員会の委員紹介と祝電披露が行われた。

続いて日本全薬工業株式会社及びベーリンガーインゲルハイムアニマルヘルスジャパン株式会社によるセーブペットプロジェクト寄付金授与式が行われ、藏内会長に200万円が贈呈された。開会式の最後に、鳥海副会長から開会が宣言された。

引き続き、ステージでは農林水産省動物検疫所羽田空港支所と獣医コミュニケーション研究会（農場どないすんねん研究会：NDK）の協力による獣医師の仕事と役割を紹介する「知っていますか？ 獣医師の仕事」として、NOSAI、公務員獣医師の紹介のほか、動物検疫所による検知犬のデモンストレーションが行われた。その他、農林水産省消費・安全局畜産安全管理課の協力による『モォ〜っと知りたい！ クイズ「牛さんの秘密と獣医さんのお仕事」』、動物愛護週間中央行事としてのプログラムが行われ、各ステージの最後に、一般社団法人ペット用品工業会、株式会社モンベル、シャボン玉せっけん株式会社の協力によるじゃんけん大会が開催された。

展示・体験コーナーでは、本会が獣医学生協会及びSJDドッググルーミングスクール、NPO法人ジャパンドッグサポートセンターの協力を得て「一日獣医師体験コーナー」を実施した。参加した子どもたちは獣医学生の指導を受けながら、聴診・触診・視診等の身体検査を体験し、瞳を輝かせていた。

その他、日本中央競馬会と馬事公苑、日本装蹄協会による「馬とのふれあい写真撮影」、中央畜産会(馬事畜産振興協議会)による「蹄鉄輪投げ」、獣医学生協会によるブース、株式会社モンベル・公益社団法人東京都獣医師会・一般社団法人ペット用品工業会・特定非営利活動法人アナイス、九州地区獣医師会連合会による「人とペットの防災ブース」が行われ、多数の来場者が訪れた。

全てのプログラムの最後にメインステージで行われた閉会式では、宇佐美 晃動物感謝デー企画検討委員会委員長・公益社団法人日本獣医師会関東地区理事と田畑直樹動物愛護週間中央行事実行委員会委員長・公益社団法人日本動物愛護協会理事長から、閉会挨拶として、本年のイベントが盛会裏に終了したことへのお礼が述べられた。

日本獣医師会では、今後とも、日本獣医師会・獣医師会活動の指針の理念に基づき、本行事等を通じた、広く国民に対する動物との共生の重要性や獣医師の職務等の理解の醸成に努めることとしている。

以下に後援、協賛、協力をいただいた省庁、自治体、企業、団体を改めて紹介し、本年の開催への温かいご支援、全国55地方獣医師会、地区獣医師会連合会の出展、協賛等へのご協力、さらに日本獣医学生協会の多数のボランティアスタッフによる事業運営支援に対して心からお礼申し上げたい。

2025 動物感謝デー in JAPAN 後援・協賛・協力団体

【後援】

農林水産省、環境省、厚生労働省、文部科学省、外務省、内閣府食品安全委員会、東京都、台東区、公益社団法人日本獣医学会、公益社団法人日本動物病院協会、一般財団法人動物看護師統一認定機構、一般社団法人日本愛玩動物看護師会、World Veterinary Association（世界獣医師会）、ヒトと動物の関係学会、AIPO（動物ID普及推進会議）

【特別協賛】

共立製薬株式会社、日本全薬工業株式会社、ベーリンガーインゲルハイムアニマルヘルスジャパン株式会社、株式会社ベネッセコーポレーション

【協賛・協力】

株式会社 アグリス、アニコム損害保険株式会社、イオンペット株式会社、いなばペットフード株式会社、シャボン玉せっけん株式会社、株式会社 スクウェア・エニックス、損害保険ジャパン株式会社、タマホーム株式会社、ホクサン株式会社、森久保 CA メディカル株式会社、株式会社 モンベル、株式会社 安田システムサービス、ユニ・チャーム株式会社、ライオンペット株式会社、農林水産省消費・安全局、農林水産省消費安全局畜産安全管理課、農林水産省動物検疫所羽田空港支所、環境省自然環境局総務課動物愛護管理室、東京都、東京都家畜保健衛生所、台東区、日本中央競馬会、公益財団法人日本動物愛護協会、公益社団法人全国農業共済協会、公益社団法人畜産技術協会、公益社団法人中央畜産会（馬事畜産振興協議会）、公益社団法人日本愛玩動物協会、公益社団法人日本装蹄協会、公益社団法人日本動物園水族館協会、公益社団法人日本動物病院協会、公益社団法人日本動物福祉協会、公益社団法人日本動物用医薬品協会、公益社団法人 Knots、一般社団法人 ジャパンケネルクラブ、一般社団法人全国ペット協会、一般社団法人日本愛玩動物看護師会、一般社団法人日本家畜人工授精師協会、一般社団法人日本ペット

用品工業会，一般社団法人日本養豚開業獣医師協会，一般社団法人ペットフード協会（株式会社ペティオ／ドギーマンハヤシ株式会社／ロイヤルカナンジャパン合同会社），認定特定非営利活動法人動物愛護社会化推進協会，特定非営利活動法人アナイス，特定非営利活動法人ジャパンドッグサポートセンター／SJDドッググルーミングスクール，特定非営利活動法人野生動物救護獣医師会，岩槻鷹匠会，狂犬病臨床研究会，獣医コミュニケーション研究会（農場どないすんねん研究会（NDK）），学校法人ヤマザキ学園，北海道大学，帯広畜産大学，岩手大学，東京大学，東京農工大学，岐阜大学，鳥取大学，山口大学，宮崎大学，鹿児島大学，大阪公立大学，酪農学園大学，北里大学，日本獣医生命科学大学，日本大学，麻布大学，岡山理科大学，日本獣医学士協会（JAVS）

【協力地方獣医師会】

公益社団法人北海道獣医師会，公益社団法人青森県獣医師会，一般社団法人岩手県獣医師会，公益社団法人宮城県獣医師会，公益社団法人秋田県獣医師会，公益社団法人山形県獣医師会，公益社団法人福島県獣医師会，公益社団法人仙台市獣医師会，公益社団法人茨城県獣医師会，公益社団法人栃木県獣医師会，公益社団法人群馬県獣医師会，公益社団法人埼玉県獣医師会，公益社団法人千葉県獣医師会，公益社団法人神奈川県

獣医師会，公益社団法人山梨県獣医師会，公益社団法人横浜市獣医師会，公益社団法人川崎市獣医師会，公益社団法人東京都獣医師会，公益社団法人新潟県獣医師会，公益社団法人富山県獣医師会，公益社団法人石川県獣医師会，公益社団法人福井県獣医師会，一般社団法人長野県獣医師会，公益社団法人岐阜県獣医師会，公益社団法人静岡県獣医師会，公益社団法人愛知県獣医師会，公益社団法人名古屋市獣医師会，公益社団法人三重県獣医師会，公益社団法人滋賀県獣医師会，公益社団法人京都府獣医師会，公益社団法人大阪府獣医師会，一般社団法人兵庫県獣医師会，公益社団法人奈良県獣医師会，公益社団法人和歌山県獣医師会，公益社団法人京都市獣医師会，公益社団法人大阪市獣医師会，公益社団法人神戸市獣医師会，公益社団法人鳥取県獣医師会，公益社団法人島根県獣医師会，公益社団法人岡山県獣医師会，公益社団法人広島県獣医師会，公益社団法人山口県獣医師会，公益社団法人徳島県獣医師会，公益社団法人香川県獣医師会，公益社団法人愛媛県獣医師会，公益社団法人高知県獣医師会，公益社団法人福岡県獣医師会，公益社団法人佐賀県獣医師会，公益社団法人長崎県獣医師会，一般社団法人熊本県獣医師会，公益社団法人大分県獣医師会，一般社団法人宮崎県獣医師会，公益社団法人鹿児島県獣医師会，公益社団法人沖縄県獣医師会，公益社団法人北九州市獣医師会



動物愛護週間中央行事実行委員会委員長の田畑直樹日本動物愛護協会理事
 会長



藏内勇夫会長



片山さつき財務大臣



鈴木憲和農林水産大臣



森 英介衆議院議員



大家敏志参議院議員



セーブペットプロジェクト寄付金贈呈式
(左：ベーリンガーインゲルハイムアニマルヘルスジャパン(株)西見泰浩代表取締役社長，中央：藏内勇夫会長，右：日本全業工業(株)福井寿一代表取締役社長)



開会宣言をする鳥海 弘副会長



農林水産省動物検疫所羽田空港支所による
獣医師の仕事紹介



公務員獣医師について説明する東京都 家畜保健衛生所の
神崎萌絵獣医師



産業動物診療獣医師について説明する
寺内動物病院の寺内宏光獣医師



農林水産省畜水産安全管理課によるステージ



日本獣医学生協会 (JAVS) による弦楽演奏



日本獣医学生協会 (JAVS) による吹奏楽演奏



一日獣医師体験



馬とのふれあい写真撮影



じゃんけん大会



閉会の挨拶をする宇佐美 見 動物感謝デー企画検討委員会委員長（関東地区理事）



運営協力をいただいた日本獣医学生協会（JAVS）の皆さん